



大切なお知らせ

会費納入とご寄付のお願い

RDA Japan は、皆さまからの会費とご寄附によって活動をする特定非営利活動法人です。同封いたしました払込票もしくは銀行振込みにて2009年度の会費を納入くださいますよう、お願い申し上げます。

RDA Japan への寄附は税制優遇の対象です

国税庁長官より認定されている RDA Japan への寄附は、個人は所得税において、企業は法人税において税制優遇措置を受けることができます。

RDA Japan の年会費

正会員 / 3,000円 賛助会員 / 一口1,000円 (三口以上、口数の上限はありません)

年会費や寄附金の振込先

< 郵便振替 > 口座番号: 00100-4-32279 口座名義: RDA Japan

なお郵便振替をご利用の場合は下記の内容を必ず明記して下さい。

・氏名、住所、電話番号、振込目的 (正会員費・賛助会員費・寄付のいずれか)

会報はホームページ上でご覧いただけるようになりましたので、ダウンロードできる方は経費削減にご協力ください。ご協力いただける方は、**お手数ですが「事務局のメール」または「郵便振込用紙」に、会報発送は必要ない旨をご連絡**ください。なお、今月号は払込票をお送りするため、会報発送不要とお申し出くださった方にも会報をお送りしております。

< 銀行振込 > 三菱東京UFJ銀行広尾支店 普通預金 1152740

メールアドレスが変わりました

皆さまからのご意見、お問い合わせは、rda@rdajapan.com をお願いいたします。

また事務局住所は、〒174-0043 東京都板橋区坂下1-36-7-103 に変わっております。

お手元のメールアドレス、住所録をご訂正くださいますよう、お願いいたします。

乗馬インストラクターと医療関係者のための講習会 開催のお知らせ

開催日: 2009年6月6日(土)7日(日) PT,OT,医療関係者対象

6月7日(日)8日(月) 乗馬インストラクター対象

会場: 那須野ヶ原ファーム 栃木県大田原市狭原 1298-1 TEL 028-754-0009

主催: RDA Japan

受講料: 一般 20,000円 会員 18,000円 (2日間) *一日のみの参加も可

講師: メアリー・ロングデン女史 (FEI パラエクストリアン委員)

ウィッキー・メルビル女史 (RDA-ニュージーランド理学療法士)

協力: 那須野ヶ原ファーム、株式会社リズムメディア

騎乗者へのインストラクションを始め、馬の日々の調教、調整に携わるインストラクターの技術向上、馬の動きや揺れを活かしたより安全で効果的な乗馬へのステップアップを実践します。また障がい者乗馬に関心のある医療関係者には馬の必要知識と扱い方を中心に実馬を使ったレクチャーがなされます。

申し込み方法などはホームページ <http://www.rdajapan.com/> をご覧になるか、事務局 080-6519-7818 にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

RDA Japan 認定インストラクター資格試験実施のお知らせ

日時: 2009年6月9日(火)

会場: 那須野ヶ原ファーム 栃木県大田原市狭原 1298-1 TEL 028-754-0009

受験料: 15,000円

試験内容: 障がい者乗馬レッスン実技、受講者乗馬技能実技、筆記、面接

定例総会報告

日時：2009年4月23日（木） 午後1時00分から

場所：東京ボランティア・市民活動センター（新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階）

出席数：87名（内、委任状提出者72名 / 議決権を有する正会員数152名）

議長：近藤誠司 書記：林原千夏 議事録署名人：金森美穂 菊地恵子（五十音順・敬称略）
・審議

（第1号議案） 2006年度 事業報告に関する件

【年度総括】

今年も、各方面からたくさんのご支援とご協力をいただき、実りある多くの事業を実施することができました。2000年に始まったRDA Japan 認定インストラクター資格ですが、これまで更新の方法が明文化されていませんでした。障がい者乗馬の安全で正しい普及、発展を考えますと、資格更新手続きの要件や方法の整備、流布は必要不可欠です。認定期間を過ぎた既資格取得者に対しても、一律にお知らせし、更新手続きを行っております。

また、2008年度より始めました「ボランティア表彰制度」は、障がい者乗馬の立役者とも言える可愛い馬たちやその日々の活動をエネルギーに支えてくださるボランティアに対して、感謝状をお贈りするものです。全国よりご応募をいただき、あらためて、RDA 活動をご支援くださる皆さまや馬たちの貢献に胸が熱くなる思いでした。

さらに、2008年度はホームページを一新し、充実を図った年でもあります。RDA Japan の活動を皆さまにより分かりやすく、リアルタイムで双方向的にお伝えできるものと自負しております。会報もホームページに掲載することにより、ダウンロードが可能となり、通信費の削減にも繋がります。

最後に、「認定 NPO」が今年も認証を受けることができましたことは、活動と運営の総括とも申せませす。皆さまのあたたかいご支援とご協力の下で真摯な活動を続けて参りました結果が正当に評価されましたものと喜ばしく御礼申し上げます。今回は2009年1月から5年間の認定期間となります。役員一同身を引き締めて運営にあたってまいりますので、今後ともRDA Japan をなお一層お引き立てくださいますよう、お願い申し上げます。

2008年度に実施いたしました主な事業は、次の通りです。

< 普及・啓発事業 >

- 会報の発行
- ガイドブックの頒布
- リボンマグネットの頒布
- ホームページの充実と有効活用
- 人材派遣、助言、指導、支援

帝京科学大学の障がい者乗馬に関するカリキュラムへの協力

日本獣医生命科学大学の障がい者乗馬会および勉強会への講師派遣
パカポコ山口への講師派遣

< 人材育成事業 >

- インストラクター資格更新手続き

< 交流事業 >

- モンゴル乗馬ツアー
- 海外メンバーへクリスマスカードの送付
- 写真コンテスト
- ボランティア表彰制度

< 支援・協調事業 >

- ユニット支援、ユニット会議

(第2号議案) 2006年度 会計および監査報告に関する件

(単位:円)

科 目	予算額	決算額 (単位:円)	備 考
. 収入の部			
1. 会費収入			
正会員費	450,000	285,000	
賛助会費	60,000	36,000	321,000
2. 寄付金収入			
寄付金収入	2,000,000	694,171	694,171
3. 補助金収入			
民間助成金収入	100,000	0	0
4. 事業収入			
(1) 啓発・普及事業人材育成事業	1,635,000	1,699,760	
(2) 人材育成事業	6,000	15,000	
(3) 交流事業	0	0	
(4) 支援・協調事業	0	0	
5. 雑収入			
雑収入	0	0	
受取利息		4,300	1,719,060
当期収入合計(a)	4,251,000		2,734,231
前期繰越金収入	7,351,480		7,351,480
収入合計(b)	11,602,480		10,085,711
. 支出の部			
1. 運営支出	3,000,000	1,778,243	
2. 事業支出			
(1) 啓発・普及事業人材育成事業	3,676,000	1,585,633	
(2) 人材育成事業	1,280	1,190	
(3) 交流事業	1,317,000	1,175,934	
(4) 支援・協調事業	242,160	215,110	
3. 予備費	3,366,040	3,000	4,759,110
当期支出合計(c)	11,602,480		4,759,110
当期収支差額(a)-(c)			2,024,879
次期繰越金収支差額(b)-(c)			5,326,601

(第3号議案) 役員の承認に関する件

理事長 近藤 誠司

副理事長 竹田 謙一

理 事 浅利 和人、河合 正人、金森 美穂、金子 美保、菊地 恵子、黒田 朋子、
柴尾 小百合、土谷 麻紀、秦 寛、林原 千夏、伴 加奈子、横山 章光、
中田 順寿(新任)

監 事 五味 静子、村岡 章

(理事15名、監事2名)

2年間の役員任期途中ではありますが、中田順寿氏が理事に加わります。
他は2008年度の役員体制のままで2009年度も臨みます。

(第4号議案) 2009年度 事業計画に関する件

【基本方針】

2008年度はRDA理念の原点に戻った年でもありました。前年の混乱を收拾しつつ、運營業務や事務の進め方の修正を余儀なくされました。例年に比べ講習会の開催回数が減ったと感じた会員も多くいらしたと思います。しかし、会の規模に見合った活動を着実に続けるためにも、ダウンサイジングは避けて通ることができない問題と言えます。

そのような中で大きな救いであり、指標となりましたのは、活気にあふれる障がい者乗馬活動の現場であるユニットの存在でした。皆さまの活動がさらに安全に発展、普及するよう潤滑油の役をこなすことがRDA Japanの使命であると思知らされました。2009年度もRDA理念を忘れることなく、障がい者乗馬活動の発展と普及に務めて参ります。

また、国内での障がい者乗馬インストラクターの一本化の動きも始まろうとしており、RDA Japanの担うべき部分も大きいと考えております。

今年度の主な事業は以下の通りです。

(1) 普及・啓発事業

- ・会報の発行
- ・ガイドブックの頒布
- ・リボンマグネットの頒布
- ・ホームページの充実と有効活用
- ・障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流
- ・海外メンバーへクリスマスカードの送付
- ・写真コンテスト
- ・ボランティア表彰制度
- ・ユニット会議支援
- ・ユニット認定
- ・一般向けシンポジウム開催
- ・RDA Japanパンフレットの作成

(2) 人材育成事業

- ・海外講師を招いての講習会
- ・インストラクター資格試験
- ・インストラクター資格更新手続き

(第5号議案) 2006年度 予算計画に関する件

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
・収入の部			
1. 会費収入	340,000	340,000	注 1
2. 寄付金収入	400,000	400,000	
3. 補助金収入	100,000	100,000	
4. 事業収入	819,000	819,000	
5. 雑収入	2,000	2,000	
当期収入合計(a)			1,661,000
前期繰越金収入			5,326,601
収入合計(b)			6,987,601
・支出の部			
1. 運営支出	1,450,000	1,450,000	
2. 事業支出	3,423,000	3,423,000	
3. 予備費	2,114,601	2,114,601	
当期支出合計(c)			6,987,601
当期収支差額(a)-(c)			5,326,601
次期繰越金収支差額(b)-(c)			0

(第6号議案) 定款変更に関する件

昨年のNPO法の改正により、総会においても評決権行使が従来の書面による方法に加え電磁的方法によることも可能になりました。それに伴いRDA Japanでも定款を変更したいと思います。

また現状では年度中の事業の追加や変更には総会の議決が必要ですが、すべての事業計画が総会開催までには出揃いません。そこで、当会の機動力を高めてより迅速で柔軟な対応を可能にするため、従来は総会の議決事項であったものを一部理事会で議決できるように定款を変更したいと思います。

1. 電磁的方法の導入に伴う変更
 - (1) 第25条 3 書面により 書面および電磁的方法により
 - (2) 第29条 2 書面をもって 書面および電磁的方法をもって
 - (3) 第34条 3 書面により 書面および電磁的方法により
 - (4) 第38条 2 書面をもって 書面および電磁的方法をもって
2. 総会議決を理事会議決へ変更
 - (5) 第23条 3、8 削除
 - (6) 第32条 1 3 2 4 3 5
 - 1 事業計画及び収支予算並びにその変更。
 - 2 事務局の組織及び運営に関する事項。
 - (7) 第46条 総会の議決 理事会の議決
 - (8) 第49条 総会の議決 理事会の議決

誌面構成上、概要のみの掲載でのご報告になります。

資料をご希望の方や詳細をお知りになりたい方は、事務局までご連絡ください。

2008年度第5回理事会報告

日時：2009年3月7日(土) 午前1時30分から

場所：東京大学農学部3号館 (東京都文京区弥生1-1-1)

出席理事：金森、金子、近藤、竹田、横山

委任状：6通(浅利、河合、菊地、黒田、柴尾、秦、林原)

議長：近藤誠司 書記：金子美保 議事録署名人：竹田謙一、金森美穂

1. 2008年度事業報告に関する件
 2. 2008年度会計報告に関する件
 3. 役員の承認に関する件
 4. 2009年度事業計画に関する件
 5. 2009年度予算計画に関する件
 6. 定款変更
 7. 内規変更
 8. 次回理事会の開催について
 9. その他
-

2009年度第1回理事会報告

日時：2009年4月23日(木) 午後2時30分から

場所：東京ボランティア・市民活動センター(新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階)

出席理事：金森、菊地、近藤、柴尾、竹田、中田、林原、伴、横山

委任状：5通(浅利、金子、河合、黒田、秦) オブザーバー：五味監事、小泉氏

議長：近藤誠司 書記：林原千夏 議事録署名人：金森美穂 菊地恵子(五十音順・敬称略)

1. 来年度事業について
 2. 理事の役職選任について
 3. 内規の変更について
 4. 次回理事会の開催について
 5. その他
-

八ヶ岳ホース・エキスポ in こぶちざわ 2009 開催のお知らせ

日時：2009年5月29日(金)～31日(日)

会場：山梨県馬術競技場覆馬場

開催：八ヶ岳ホース・エキスポ in こぶちざわ実行委員会

TEL & FAX 0551-38-0829

後援：全国乗馬倶楽部振興協会・山梨地区乗馬倶楽部振興協会

参加料：一日券 前売り/10,000円 当日/12,000円

(3日間開催ですのでご都合のいい日をお選びください)

講師：スーザン・ハリス女史、ペギー・ブラウン女史

センタード・ライディングの第一人者を講師にお迎えし、「人と馬との動く解剖学」を学びます。

詳しくは上記実行委員会にお尋ねください。

学生のための障害者乗馬講習会 開催のお知らせ

障害者乗馬の概要、歴史、指導技術、実践理論、リスク管理など、障害者乗馬全般に関すること。

日時：2009年6月13日(土) 午前・経験者を対象とし、実馬を使用して実技講義

午後・未経験者も対象とした室内講義

会場：帝京科学大学(山梨県上野原市八ッ沢 2525 JR中央線上野原駅より送迎バスあり)

開催：RDA Japan と帝京科学大学の共催

講師：メアリー・ロングデン女史、ヴィッキー・メルビル女史

申込・問合せ：帝京科学大学 医療科学部 理学療法学科 浅利和人 pt-asari@ntu.ac.jp

人材紹介登録のお願い!!!

「障がい者乗馬活動を始めたいから指導者がほしい」「日々の活動のなかで医療的な疑問を感じる」・・・RDA Japan ではインストラクターを始め、理学療法士、作業療法士とのネットワーク作りを大切にしています。現場のニーズにお応えできるよう、可能な限り活動地域近隣の人材を紹介するシステムを構築中です。

そこでインストラクター、理学療法士、作業療法士、馬のプロフェッショナルなどありとあらゆるRDA活動の一員となったださる方を正会員から募集いたします。

興味のある方、登録を希望なさる方は、どうぞ事務局までご連絡ください。

また疑問・質問などもお気軽に事務局にお尋ねください。

RDA Japan 認定団体のお知らせ

RDA Japan では、3年ごとにユニットを認定しています。新規のお申し込みも随時受け付けておりますので、詳しくは、事務局までお問い合わせください。

RDA Japan 関係団体の定例乗馬会

パカポコクラブの定期乗馬会

パカポコクラブでは、障がい者乗馬の定期乗馬会を行なっています。

ボランティアも乗り手も募集しています。たくさんの皆さんにご参加いただいて定期乗馬会を盛り上げていきたいと思っています。ご参加お待ちしております！

日時：毎月第4日曜日 10時～12時 / 毎月2回土曜日 14時～16時

場所：佐々木牧場(岩手県一関市)

問合せ：パカポコクラブ 佐々木さん / Tel・0191-82-5584

クローバーの定期乗馬会

クローバーでは、月1回の定例乗馬会を行っています。乗馬会をお手伝いいただけるたくさんのボランティアをお待ちしています。興味のある方は是非、お問い合わせください。

日時：毎月第2土曜日 13時～16時

場所：北海道浦河町乗馬公園(覆馬場)

問合せ：乗馬ボランティアクラブ「クローバー」 飯岡さん / Tel・090-7641-8094

RDA宇都宮の定期レッスン

RDA宇都宮では、障がい者乗馬の定期レッスンを水・金・土・日・月曜日に実施しています。皆さんのお力添えをお願いします。

定期レッスンをお手伝いいただけるたくさんのボランティア参加をお願いいたします。

場所：RDA宇都宮（栃木県宇都宮市）

問合せ：RDA宇都宮 井原さん / Tel・090-3530-9256 ホームページ：<http://www.rdau.com>

RDA横浜の定期レッスン ボランティア募集

RDA横浜では、火・水・金・土曜日（各日とも主に午後）に定期レッスンを行っています。

レッスンをお手伝いいただけるたくさんのボランティア参加をお願いいたします。

場所：横浜乗馬倶楽部（三ツ沢公園内）

【横浜市営地下鉄・三ツ沢上町駅下車、徒歩5分 / バス停・三ツ沢グランド前下車、徒歩2分】

問合せ：RDA横浜 野口さん / Tel・080-5382-9188 ホームページ：<http://www.rda-yokohama.jp/>

NPOゆきわりそう ハローヒポの障がい者乗馬教室

定期レッスンを毎週木・土・日曜日におこなっています。

馬に乗るだけでなく、世話や作業、ふれ合いを通じ馬と親しみ、社会性や情緒を育てることを目的とし活動しております。ボランティアのご協力をお願いします。

場所：群馬県安中市松井田町行田52 NPOゆきわりそう ハローヒポ Tel・027-380-7088

問合せ担当：黒田さん ホームページ：<http://www.yukiwari.org/hellohippo/>

ぼちっと裏方紹介

理事 竹田謙一（たけだ けんいち）です

RDA Japan 会員の皆さま

昨年度より、副理事長を仰せつかっております、竹田謙一です。私とRDA Japanとのつながりは、今から7年前になるでしょうか。信州大学農学部で木曾馬を飼育していることから、近くの養護学校の生徒さんをお招きし、RDA Japanのご協力の下、木曾馬乗馬会を開催いたしました。その取り組みは、3年ほど続きましたが、スタッフ不足等の理由で、残念ながら現在は行っておりません。その後、RDA Japanからお招き頂き、渋谷の会場で、ウマの福祉と言うテーマで講演いたしました。その当時、動物福祉（＝アニマルウェルフェア）は、言葉すら知られておらず、動物を使った活動により人間の福祉向上であると誤解されておりました。福祉という言葉がついているので、動物を生き長えさせるといった理解がされているようですが、正しくは、動物の利用を認めつつ、動物の飼い方や取扱に配慮しましょうと言う考え方です。私は大学に勤務し、研究テーマの1つとして、アニマルウェルフェアを取り上げております。先にご紹介しました大学での乗馬会では、多数の方をお乗せしたため、翌朝、ウマが下痢をしてしまいました。いくら人の役に立つ動物とは言え、酷使しすぎては、動物も様々なストレスを感じますし、その動物を利用したRDA活動では、騎乗者への怪我等が懸念されます。現在、信州大学ではRDA活動や乗馬に関する基礎研究を行っていませんが、動物（ウマも含め）の取扱等々について、皆様へ情報提供をしていきたいと考えております。

今後ともRDA Japanに対し皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事 林原千夏（はやしばら ちなつ）です

馬好きの作業療法士（OT）です。馬に助けもらった経験があり、馬が人間を助けてくれることを多くの方に経験していただきたいと思いました。OTと馬をつなぐ新たな仕事はないかと考え、たどり着いたのが障がい者乗馬の世界でした。OTとして自分に求められる仕事があることがとてもうれしいです。

作業療法（OT）とはリハビリテーションの中でも実際の生活により近い分野です。理学療法が機能面に目を向けているのに対し、OTは活動面に目を向けています。筋肉や関節がただ動くだけでは機能的には使用できません。実際に活動（作業）ができるように治療していくのです。（次ページへ続く）

そのために実際の活動を通して身体面だけでなく精神面、心理面、知的面などが総合的に機能するように働きかけます。馬を使う活動の中では、たとえば「ブラシ掛けをどのように行うか」「馬に乗る前に馬と対面するか、乗った後に触れあうか」「乗馬、下馬の方法は」「鞍はどのようなものにするか」「サイドウォーカーやリーダーは必要か」「手綱操作はどのレベルまでするか」「指示の方法は言語中心にするか、非言語的な方法をとるのか」「一人レッスンをするかグループレッスンにするか」「レッスンの目標は何か、どのような手段をとるのか」「目標が達成は日常生活にどのようにつながるか」などなど馬を使った活動=OTとして根拠のある活動を提供します。またその活動が「楽しいか」「欲している感覚(リズム・揺れ・匂い・さわり心地)が得られるか」「達成感はあるか」「教育的要素(バランス感覚・筋力・自分の体がどうなっているかというボディイメージ・コミュニケーション・協調性)はあるか」などを考えて活動を提供し、段階づけをおこないます。クドク長くなりそうですので、この位にしておきます。OTの話に興味があればいつでも声をかけてください。私もより専門的に馬を使った治療的活動ができるように頑張ります。

ご支援に感謝いたします

企業や団体の皆さまから、たくさんのご支援をいただいて活動しています

これまで、ご支援をいただいた企業や団体の皆さまです。(敬称略、順不同をお許しください)
株式会社クリニコ / 日本ケミカルリサーチセンター株式会社 / ジェーシーアール株式会社
日本馬主協会連合会 / 凸版印刷株式会社 / 株式会社ハウフルズ / リーバイ・ストラウスジャパン
ゴールドマン・サックス証券株式会社 / 財団法人損保ジャパン記念財団 / 社団法人東京青年会議所
財団法人笹川スポーツ財団 / グレート・ブリテンササカワ / 大日本住友製薬株式会社 / カバロ東京
日本郵政公社 / モルガン・スタンレー証券株式会社 / メリアル・ジャパン株式会社 / 乗馬ライフ
独立行政法人日本スポーツ振興センター / 東京都共同募金会 / 東京マリーンロータリークラブ
財団法人日韓文化交流基金 / 株式会社カンパセーション アンド カムパニー / 北澤商事有限会社
バキュームモールド工業株式会社 / バキュームモールド販売株式会社 / 株式会社エヌケイケイ
有限会社ピアッフェ / 株式会社不動産投資研究所 / 日本エンタープライズ株式会社
財団法人ヨネックススポーツ振興財団 / 独立行政法人福祉医療機構 / 社団法人東京倶楽部
東京大崎ロータリークラブ / ハートランド牧場 / 財団法人日本社会福祉弘済会/株式会社リズムメディア

事務局から

お引越しをされた方は、新住所をお知らせください

転勤や就職、進学などで住所変更される方、また市町村合併に伴って住所表示が変更になる方もいらっしゃると思います。

RDA Japan ではメール便を活用し、会報等を発送しています。郵便物と違って転居しても転送されません。事務局へのご連絡は、電話、メール、郵送にてお願いいたします。

編集担当から

活動予定や活動報告、ご意見などを、ぜひお寄せください

RDA Japan Newsは、皆さまからの情報で成り立っています。

乗馬会や講習会などの情報、ご意見やお便りなど以下の法人メールにドシドシお寄せください。

次号の締切は、7月10日です。

発行：特定非営利活動法人 RDA Japan (国税庁長官 認定NPO)

〒174-0043 東京都板橋区坂下1-36-7-103

電話・080-6519-7818

Eメール・rdaj@rdajapan.org

ホームページ・http://www.rdajapan.com/

<郵便振替>口座番号：00100-4-32279 口座名義：RDA Japan

<銀行振込>三菱東京UFJ銀行広尾支店 普通預金 1152740

口座名義：アールディーエージャパン

